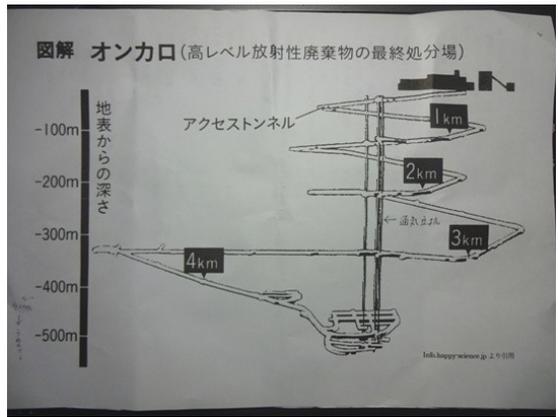


始末に困るものはつくってはならない フィンランドのオンカロ、ドイツの原発廃炉を視察した立石由美さんが強調



そこに使用済み核燃料などを入れて少しずつ放射性廃棄物の危険が弱くなっていくのを待つ。だが、そのことで、10年で6ミリ隆起し、10万年では600ミも隆起する。世界初の核のゴミ処分場での処分の方法を聴いて、放射性物質を処分することがいかに困難なことかを改めて確認できました。原発の危険性を使用済み核燃料などの処分の角度から浮き彫りしたいという講演だったと思います。

講演後、参加者からは、「プレートがいくつももある日本では最終処分場は造れない」「(放射性廃棄物の)恐ろしさを常々感じている。みんな原発に反対していかねば……」「柏崎刈羽原発の周辺に住む人たちが原発に反対していると実感できない。これから若いお母さんたちに(原発の恐ろしさを)伝えていきたいと思っているが、何をどうしたいのか」などの発言が相次ぎました。立石さんは、最後に、「人の考えは様々だが、原発はやだねの1点でつながることが大切だ」と強調していました。

私の今年の10大ニュース

2015年の1年を振り返る時期になりました。私なりに今年の10大ニュースをまとめてみました。

- 1 安民法制(戦争法案) 強行採決。「戦争しない国」から「戦争できる国」への大転換。上越では8月30日、かに池公園で700人集まり反対大集会。
- 2 ガス水道局所管の本支管工事をめぐって



【そうめんかぼちゃの酢もの】母が作った料理のひとつです。茹でて果肉をほぐし、酢をまぶす。上からゴマを振りかける。簡単なようですが、結構難しい。しゃきしゃき感が残るように茹でるコツがあるようです。

- 3 新潟地裁に提訴(いわゆる談合裁判)。原告団長に就任。
- 3 県議選、前回票を3倍以上に伸ばしたものの惜敗。
- 4 上越市が原発事故を想定した避難計画案策定。
- 5 (仮称)厚生産業会館建設の是非を問う市民投票実施の提案否決される。同建物は今年23日、起工式を実施。
- 6 介護保険改悪。上越市新総合事業で混乱と矛盾。
- 7 激しい雨風の中、柏崎市にて「なくそテ原発大集会」開催、参加。
- 8 上越市の地域協議会制度、見直しへ。
- 9 毎週発行の「はしづめ法」の活動レポート、1700号到達。
- 10 初孫誕生。「じいちゃん」と呼ばれる日、いよいよ現実に。



高田のYさんの絵手紙。サンタさんは平和を求める署名を背負って…。

はしづめ法一の活動レポート

No.1738 2015.12.27

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三八六回

極太万年筆

人生っておもしろい出会いを用意してくれることがあるんですね。先日、中学校時代に見た校長先生の極めて太い万年筆と五二年ぶりに出会いました。あまりの懐かしさに胸がいっぱいになりました。

万年筆の持ち主は故熊倉平三郎先生。私が旧源小学校に入った時から旧源中学校二年生の時までの校長先生です。恰幅のいい先生で、ダブルのスーツがお似合いです。たぶん掃除当番で校長室に入ったときに先生の万年筆と初めて出会ったのだと思います。万年筆は黒色で、ソーセイジくらいの太さがありました。重々しくて、作家とか代議士くらいしか使わないものに違いないと、ほれぼれしてその万年筆を見たものです。

校長先生の極太万年筆を見たことで、私は万年筆が欲しくてたまらなくなりました。でも買えるだけの小遣いを持っていませんでした。祖父・音治郎に買ってくれと頼みしました。最初は「ぜいたくするな」と言っていた祖父も最後は買ってくれました。買ってくれたのはパイロットのカートリッジ式万年筆で、たしか、千円だったと思います。

熊倉先生とは中学校時代に会ったのが最後で、その後、一度も会うことはありませんでした。ただ、先生が黒井生活を守る会の会長として、火力発電所反対運動の先頭に立っておられたことが耳に入ってきました。私は、正義の人だと尊敬していました。

五〇年以上経過するなかで、再び万年筆のことを思い出すきっかけとなったのは今年の九月中旬のコンサートでした。高校時代にクラスメートだった克子さんが月一回くらいのペースで上越に来て、熊倉洋子さんという女性とともに音楽活動をしているということを知りました。でも、まさか、その熊倉さんが私の小中学校時代の校長だった熊倉平三郎先生の娘さんだったとは……。

熊倉洋子さんが先生の娘さんであることを知ったのは上越市黒井在住の市民運動家・関川幹雄さんからのメールでした。びっくりしましたね。そして、メールをもらってから二か月ほど経ってからのこと、大潟コミプラでの合唱サークルの練習前に私は熊倉さんと初めて会い、話をしました。このときは克子さんも一緒です。

初めて会ったばかりなのに、洋子さんとの話ははずみました。彼女は、源中学校時代の校長先生のことを一言たりとも逃すまいといった表情で話を聴いてくれました。もちろん万年筆のことも話をしました。そのとき、「万年筆はいまもありますよ。お出かけください」とお誘いを受けたのです。

一〇日ほど前、私は熊倉さんの家にお邪魔してきました。一時間ほどお世話になってきたのですが、驚くことばかりでした。玄関からはじまって、家の中のあちこちに校長先生が描かれたという絵が飾ってあり、力強い、見事な書も数点ありました。まるで家全体が「熊倉平三郎記念館」といった感じになっていました。

二階の部屋で、洋子さんが「これなんです」と言っていて出してくれたのは、あの懐かしい極太万年筆でした。直径二・五センチ、長さは一六センチもありました。間違いなく五二年前に見たものと同じでした。この万年筆で書かれた手紙も見せてもらいました。

洋子さんによると、熊倉平三郎先生の演説では、何気ないごく普通の言葉で聴衆にとうとうと訴え、ここぞというときに決め言葉を使って、やんやの喝さいを浴びる。最後は涙ながらに訴え、聴いた人は、「これは何としても勝たなければならぬ」と闘争心が沸いてくるものだったということでした。私は熊倉先生の太い万年筆を見ながら、一歩でも先生に近づきたいものだと思います。

ご意見、ご要望をお聴きしています

「集い」の続報です。先週号では牧区で開催された「集い」での声を紹介しましたが、今回は吉川区での様子を紹介します。
吉川区内では12月に入って8会場

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果
測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月16日(水)	12月23日(水)
上越南消防署	0.040	0.047
上越北消防署	0.047	0.057
新井消防署	0.043	0.040
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.057	0.060
東頸消防署	0.060	0.040
高士分遣所	0.053	0.053
名立分遣所	0.053	0.053

で「集い」を開催しています。最初に私の方から30分ほど話題提供として市民の命と暮らしにかかわるいくつかの問題についてお話させていただき、懇談をさせてもらっています。このところ原発問題についての新聞報道も多く、それらも活用しています。

参加者との懇談会では、「消費税は18%くらいまで上がるのではないか」「従軍慰安婦は本当にいたと思うか」「認知症で介護度はどうなるか」「病児保育をもっと広げられないか」などたくさんの質問が出ました。また、「除雪する場合は、道



路の幅広の場所は帰りに広く除雪するようにしてもらいたい。そうでないと、奥の方は遅くなって困る」「乳児の健診はこれまで地元の保健センターでやってもらえたのに今年から遠くなった。何とかならないか」「転作の確認は今年から地元の立ち会いはなしになったようだが、それで大丈夫なのか」「防雪柵の高さが低すぎるところがある。改善できないのか」などたくさんのご要望を寄せていただきました。

レポートの次号は合併号
「はしづめ法一の活動レポート」、1年間のご愛読ありがとうございました。次号は1月3日号と10日号の合併号とさせていただきます。よろしくお祈りします。